

3. R-DIG（水害図上訓練）の開催

R-DIG（水害図上訓練）を実施する上で、必要となる準備物、流れについて記載しました。

3.1 準備物

R-DIG（水害図上訓練）における準備物及び準備物チェックリストを以下に示します。

表 4 R-DIG（水害図上訓練）準備物一覧表

準備物	写真
①白地図	
②透明シート	
③布テープ	
④油性ペン	
⑤ティッシュペーパー	
⑦大型付箋 (76mm×127mm 程度)	
⑧想定シナリオ	<p>想定被害</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 想定被害に準拠した地形図が台風の影響により変換 化し、当該地域では数割の商業用に変更されている。 ● 最大1時間雨量は最大30mm、分速、最大2.4時間雨量 量は30.0mmを越える可能性が示唆。 (注) 被害：●(Post-it)76mm×127mm程度) ● 現在、市庁舎内で避難中かや床上、地下浸水の被害あり。 ● 今後、被害が拡大することが予想される。

災害図上訓練_準備物リスト

事前チェック	最終チェック	項目	備考
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	白図	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	透明シート	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	布テープ	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	油性ペン	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ティッシュペーパー	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	大型付箋	76mm×127mm程度
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	想定シナリオ	一式

※数量は全てグループ分必要

3.2 R-DIG（水害図上訓練）の流れ

R-DIG（水害図上訓練）の流れについて、以下のフロー図に示します。

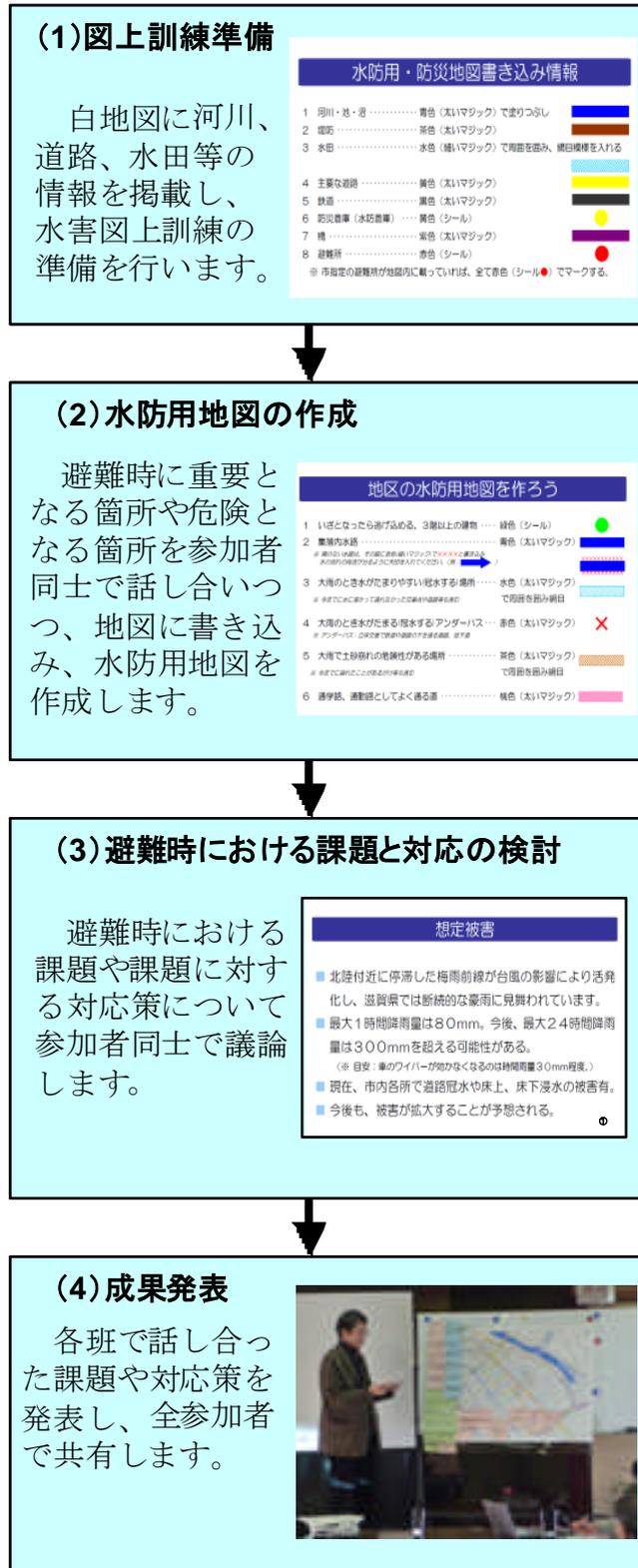


図 10 R-DIG（水害図上訓練）フロー図

(1) 図上訓練準備

水害図上訓練を実施する地区と地区を対象としている避難所が含まれる範囲の白地図に河川、道路、水田等の情報を記載し、水害図上訓練の準備を行います。

(2) 水防用地図の作成

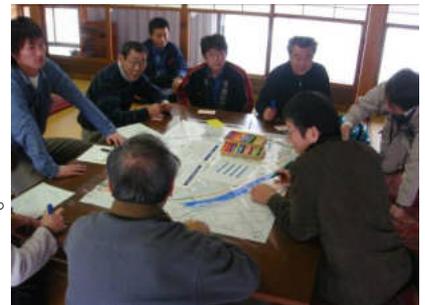
どのようにすれば、安全に避難できるかを考え、避難所以外に避難所となりうる箇所や、水が溜まりやすい箇所などを参加者同士で話し合いつつ、避難時の危険箇所また要援護者の家等の避難時に重要となる箇所を地図に書き込みます。



(3) 避難における課題と対応の検討

避難における課題等それに対する対応策の検討として、以下の4つの項目について議論します。

- ① 避難勧告が発令されたとき、どのような行動をしますか。
- ② 避難時に、何か必要なものはありますか。
- ③ 避難時の問題点は、ありますか。
- ④ 水害時の避難に向けて、日頃からできることはありますか。



(4) 成果発表

各班で話し合った避難時の課題やそれに対する対応等を発表し、参加者全員で避難時の課題やそれに対する対応を共有します。



3.3 東近江市葛巻の事例紹介

出前講座実施後の取り組みにつなげた事例としては、馬淵小学校での取り組みや東近江市葛巻で実施した R-DIG（水害図上訓練）等があります。馬淵小学校の事例に関しては紹介したので、ここでは、東近江市葛巻の事例の取りまとめ内容を紹介します。東近江市葛巻の取り組みのように、課題の抽出と地域で実施できる対応策を考えることが地域での水害の意識の高揚を図り、地域防災力の向上のために重要となります。

東近江市葛巻の R-DIG（水害図上訓練）では、水害時への心構えや避難に対する新たな課題を抽出することができました。また、「R-DIG 後にどう実践していくかが大切である」という意見が出ており、さらに次への防災活動へつなげようとする防災意識の向上といった効果が確認できます。

水害図上訓練実施結果報告 (1/2)

実施概要

平成23年2月13日に、いずれもトランク河川である日野川と法教寺川に囲まれた東近江市葛巻で、水害図上訓練を実施しました。参加者には、この訓練を通じて、いざ水害が起きた場合や避難が必要となった場合に、安全かつスムーズに避難できるように、参加者同士の議論を通じて、現状把握、課題抽出・解決方法の議論を行っていただきました。

水害図上訓練の流れ

(1) 図上訓練準備

葛巻地区と葛巻地区を対象としている避難所が含まれる範囲の白地図に河川、道路、水田等の情報を記載し、水害図上訓練の準備を行いました。

(2) 葛巻地区水防用地図の作成

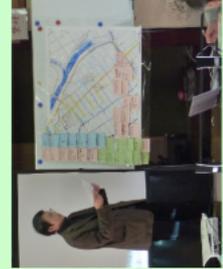
どのようにすれば、安全に避難できるかを考え、避難所以外に避難所となりうる箇所や、水が溜まりやすい箇所などを参加者同士で話し合いつつ、避難時の危険箇所また要援護者の家等の避難時に重要となる箇所を地図に書き込みました。

(3) 避難における課題と対応の検討

以下の4つの項目について、議論しました。
 ①避難勧告が発令されたとき、どのような行動をしますか。
 ②避難時に、何か必要なものはありますか。
 ③避難時の問題は、ありますか。
 ④水害時の避難に向けて、日頃からできることはありますか。

(4) 成果発表

各班で話し合った避難時の課題やそれに対する対応等を発表し、参加者全員で避難時の課題やそれに対する対応を共有しました。



図上訓練で議論された避難に関する主な意見

第1班

- ・避難勧告が出ても、あたふたしているのが実態で、なかなか避難の判断はできない。
- ・避難の準備として、まずは家族に心の準備をさせるために避難することを子供に理解させる。
- ・暗黙のうちに川の水位で気になるところを見に行ったりするが、文書化されず、訓練に活かされていない。
- ・マニュアルが必要なもの、お金、「ラジオ」、「携帯電話」など。
- ・水位等の情報が重要だ。
- ・持ち出し袋を地域でまとめて購入して配布するのはどうか。日頃からの避難準備の動機付けになる。
- ・避難について、一番の問題は、避難所が集落から遠いことである。
- ・トノバの会議所が地盤が高く避難所になりうる。
- ・避難所が近くにあつたら、避難のタイミングが少いから大丈夫である。
- ・水害時に外出している場合もあるので、家族との連絡方法を決めておくことが重要である。

第2班

- ・水防倉庫がどこにあるのかわからない。また、消防倉庫には何も入っていないことを知った。
- ・車直避難するための3階以上の建物はない。
- ・水路や水が溜まりやすい場所について話した結果、避難経路が浸水しており危ないと気付いた。
- ・集中豪雨の時に、外の状況も分からず、一斉避難ができるとは思えない。
- ・避難できる状況であれば、避難経路は二本考えられるが、田圃の中を通るルートには、柵が無いので、水路などに転落する危険性がある。
- ・避難の時に声掛けを行うことになったのは、誰に声を掛けるのかわ忘れてしまった。
- ・日頃からの準備としては、「飲水の確保」、「避難ルートの確認」である。
- ・避難経路の確認、高齢者の対応など日頃の準備も含めて、適宜話し合う場を設けた方がよい。
- ・もしもの場合を考えて、住所のみんなで、こうした情報を共有する必要があるだろう。

アンケート結果

■アンケートによる水害図上訓練の効果

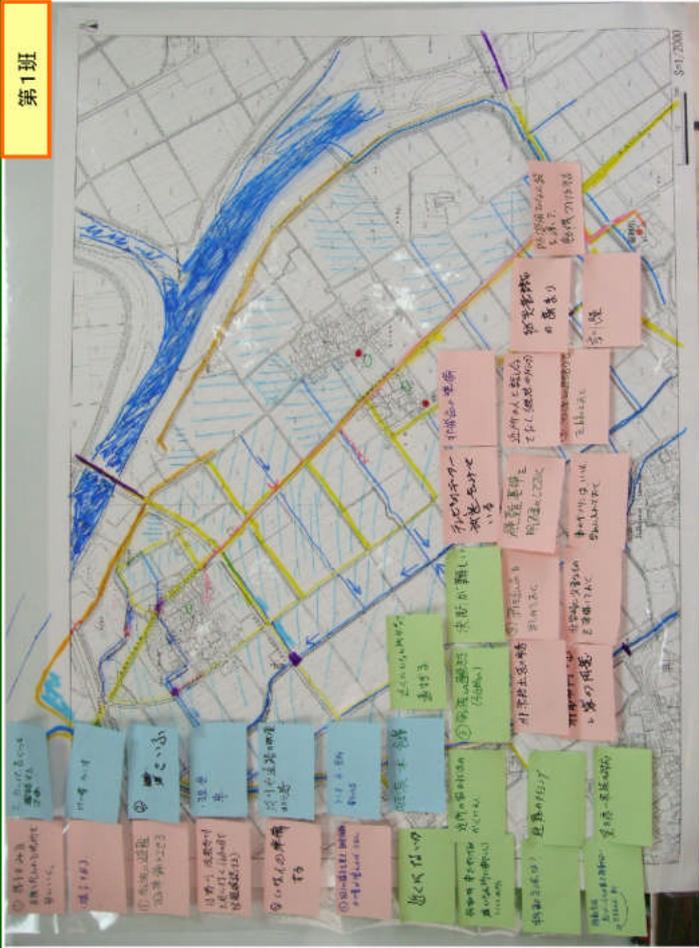
1年のお住まいが10年以内の次世(土砂災害)被害を受けると思っていますか。	事前	事後	効果
↑	66%	76%	↑
↑	0%	4%	↑
↑	100%	100%	↑
↑	50%	75%	↑
↑	92%	100%	↑
↑	50%	92%	↑
↑	100%	100%	↑
↑	75%	85%	↑
↑	50%	50%	↑
↑	100%	100%	↑

アンケート項目	結果
1. 説明は理解できた。	100%
2. 使用されたスライドにもっと絵や写真を描き加えたい。	8%
3. もっとゆつりと時間をかけて説明してほしい。	8%
4. 4日目のような出前講座は、地域の防災力を高めるために有効だと思いますか。	100%

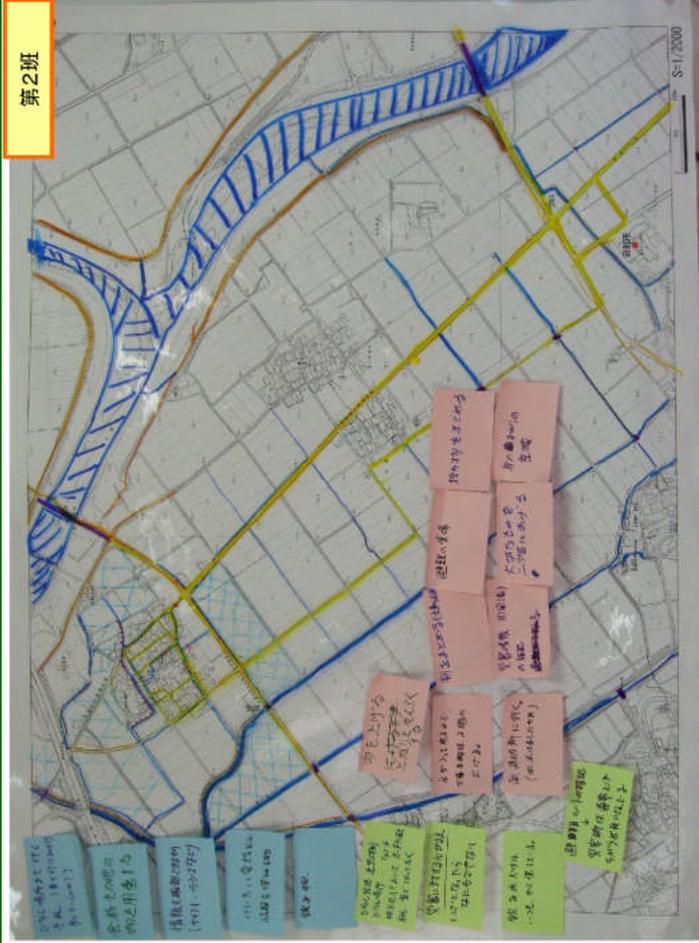
■ご意見・ご感想

- ・防災計画の作成、防災意識の徹底に取りくむ必要性を感じました。
- ・日頃からの意識づけになってほしい。
- ・参考になった。今後自治会活動に生かしていきたい。
- ・防災意識の徹底に取りくむ必要性を感じました。
- ・日頃からの意識づけになってほしい。
- ・参考になった。今後自治会活動に生かしていきたい。

水害図上訓練実施結果報告 (2/2)



第1班



第2班

凡例

ベースマップ作りの事前準備と危険箇所や避難経路などを話し合う訓練で書き込む情報の凡例を示します。

1 河川・池・沼	青色 (水防用)
2 道路	赤色 (水防用)
3 堤防	黄色 (水防用)
4 主要道路	緑色 (水防用)
5 鉄道	黒色 (水防用)
6 河川護岸 (林の帯)	黒色 (水防用)
7 橋	赤色 (水防用)
8 避難所	赤色 (水防用)

※ 河川の護岸が崩壊している場合は、全て赤色 (水防用) でマークする。

1 川にさらさらぬるる、3階以上の建物	緑色 (水防用)
2 警備が厳格	青色 (水防用)
3 入道になると歩行者が歩けなくなる	赤色 (水防用)
4 入道になると歩行者が歩けなくなる	赤色 (水防用)
5 大層な水が流れる	赤色 (水防用)
6 避難所、避難所としてよく使われる	赤色 (水防用)

今後の進め方 (案)

葛巻地区で実施した水害図上訓練で議論された水害時の避難に関する課題とそれに対する対応を踏まえた今後の進め方 (案) について以下に示します。

代表的な議論内容	今後の進め方 (案)
避難について、一番の問題は、避難所が集落から遠いことである。	<ul style="list-style-type: none"> ・避難所の確認 ・新たな避難所の設定
避難経路の確認、高齢者の対応など日頃の準備も含めて、適宜話し合う場を設けた方がよい。	<ul style="list-style-type: none"> ・要保護者の情報の把握 ・安全な避難経路の設定
水路や水が溜まりやすい場所について話した結果、避難経路が浸水しており危ないと気付いた。	<ul style="list-style-type: none"> ・想定される浸水深や過去の水害時に浸水深を示した看板の設置 (まちごとハザードマップ)
暗黙のうちに川の水位で気になるところを見に行ったりするが、文書化されず、訓練に活かされていない。マニュアルが必要であると思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・地区別避難計画の作成

4. 実施時の留意点

実施時の留意点として、出前講座の対象者別に、以下に関して把握しておく必要があります。

- ・ 場所
- ・ 時間
- ・ 実施形態
- ・ 流れ
- ・ 人数

できるだけ多くの住民の方に参加していただくために、身近な場所や適切な時間(防災訓練など地域の行事後や主婦や高齢者は昼間、勤務されている方を対象とする場合は夜など、小学生に対しては総合学習の時間)を検討する必要があります。

また、出前講座を受ける方々が強制的や義務と感じさせないための工夫が必要となります。また、参加者に災害体験者を加え、災害体験を話していただくことで、被災時の具体的なイメージができます。

さらに、出前講座の対象に応じて、人数が異なるため、対象人数を予め把握しておく必要があります。

表 5 出前講座実施時の留意点

対象者	場所	時間	実施形態	流れ	人数	備考
小学生	学校	日中(授業中)	総合学習などの時間 数回に分けて実施	川について知る(生物 など) ↓ 防災について考える	30～40人	1クラス単位
中学生						
高校生						
住民	公民館 自治会館 集会所	防災訓練などの行事後の時間 帯(人が集まる時間帯) 防災訓練後は日中 (主婦・高齢者向けは昼間、勤 務者向けは夜など)	防災訓練後 土曜の夜など	防災訓練→出前講座 出前講座単体	50～200人 20～200人	防災訓練参加者である ため、ある程度の人数 が予想される。 出前講座のためだけ に、参加するため、最 低人数が防災訓練時よ りも少なくなる可能性 がある。

5. 実施後のフォローアップ

出前講座を実施して終わりではなく、出前講座をきっかけとして地域防災力を向上させるための具体的な検討や行動が始まるのが重要であり、R-DIG（水害図上訓練）や避難訓練等につなげていく必要があります。つまり、出前講座を実施して、地域への働きかけは終わりではなく、その後のフォローアップが重要です。本マニュアルの1章で示したリスクコミュニケーションの段階において、図11のように出前講座のフォローアップとして、地域の避難計画を住民自ら考えるなどの実際の行動に移していく支援を行政として実施していくことで、地域防災力の向上を図ることが重要です。そのためには、出前講座の効果を把握して今後の取組へ生かしていくこと、また、他地域においてより良い出前講座を実施するために、実施済みの出前講座から把握できた留意事項を整理しておく必要があります。

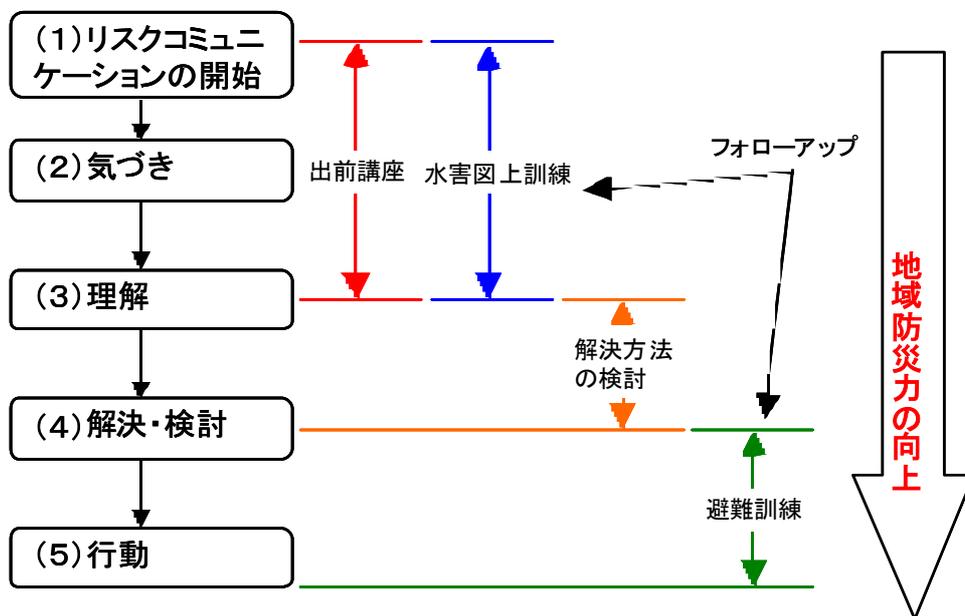
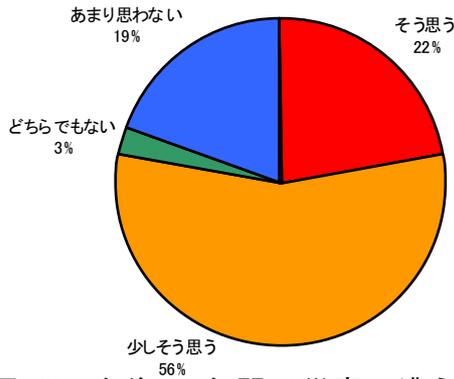


図 11 リスクコミュニケーションの段階（出前講座実施後）

5.1 効果の把握

出前講座を実施することで、住民の防災意識を向上させることができたかという効果を把握する必要があります。西横関、小田町、上駒月、葛巻、弓削において実施済みの出前講座では、出前講座の前後でアンケート調査を実施しました。このアンケートより、出前講座を実施することで防災意識が向上する効果が確認できました。また、自由記述項目を設けることで、課題の具体的な内容を把握することができます。

1. 住んでいる地域が今後10年以内に水害(土砂災害)に遭うと思いますか。
(事前調査)



1. 住んでいる地域が今後10年以内に水害(土砂災害)に遭うと思いますか。
(事後調査)

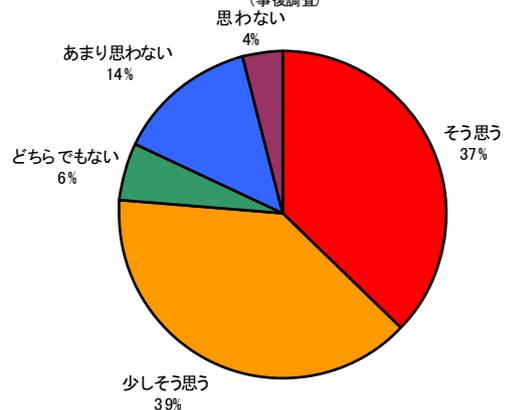


図 12 今後 10 年間で災害に遭うと思うか 出前講座前後での実施結果(竜王町西横関)

1. 住んでいる地域が今後10年以内に水害(土砂災害)に遭うと思いますか。
(事前調査)



1. 住んでいる地域が今後10年以内に水害(土砂災害)に遭うと思いますか。
(事後調査)

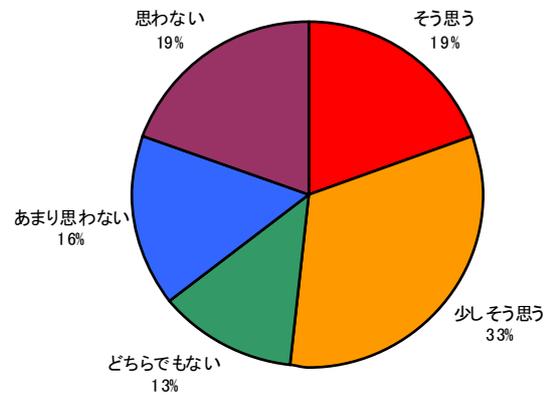
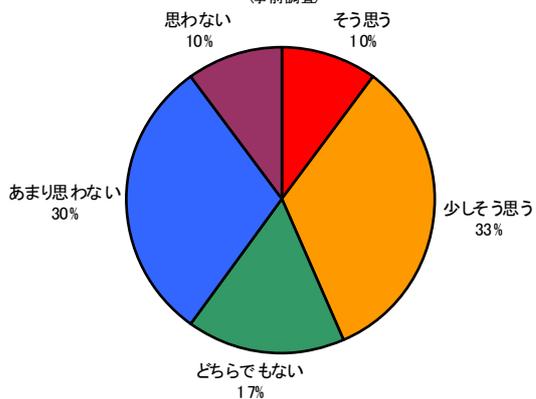


図 13 今後 10 年間で災害に遭うと思うか 出前講座前後での実施結果(近江八幡市小田町)

1. 住んでいる地域が今後10年以内に水害(土砂災害)に遭うと思いますか。
(事前調査)



1. 住んでいる地域が今後10年以内に水害(土砂災害)に遭うと思いますか。
(事後調査)

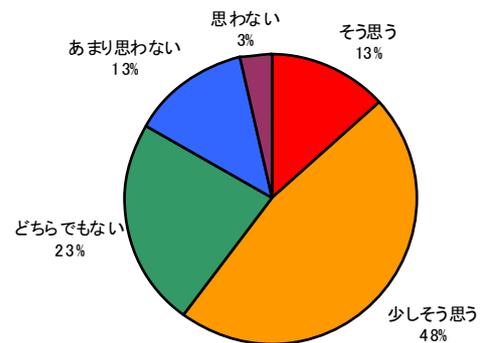
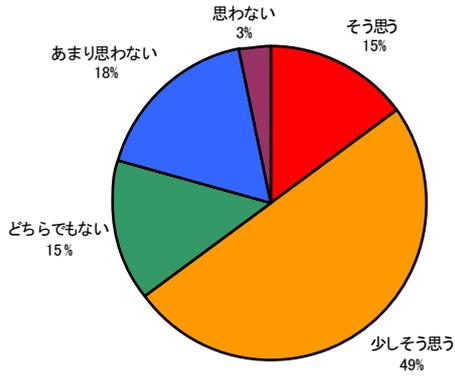


図 14 今後 10 年間で災害に遭うと思うか 出前講座前後での実施結果(日野町上駒月)

1.住んでいる地域が今後10年以内に水害(土砂災害)に遭うと思いますか。
(事前調査)



1.住んでいる地域が今後10年以内に水害(土砂災害)に遭うと思いますか。
(事後調査)

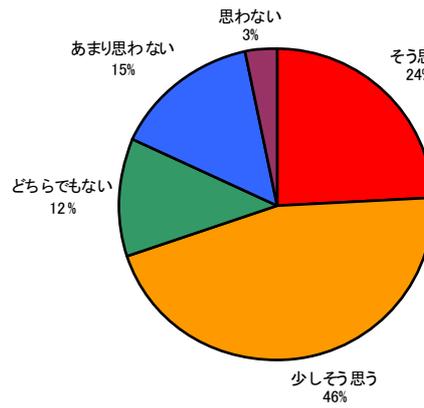
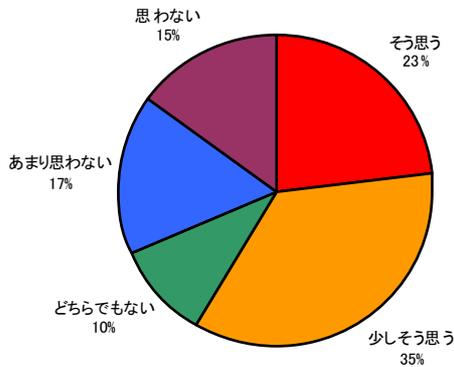


図 15 今後 10 年間で災害に遭うと思うか 出前講座前後での実施結果(東近江市葛巻)

1.住んでいる地域が今後10年以内に水害(土砂災害)に遭うと思いますか。
(事前調査)



1.住んでいる地域が今後10年以内に水害(土砂災害)に遭うと思いますか。
(事後調査)

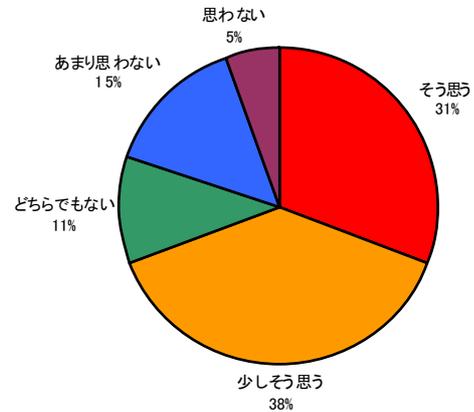
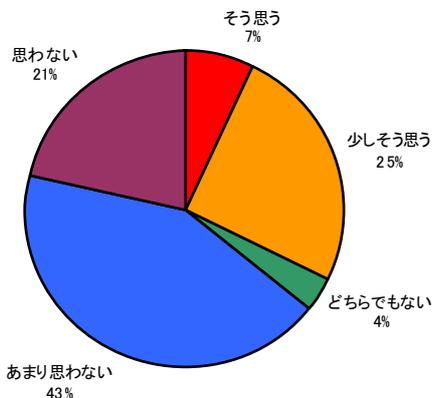


図 16 今後 10 年間で災害に遭うと思うか 出前講座前後での実施結果(竜王町弓削)

1.今のお住まいが10年以内に水害(土砂災害)被害を受けると思いますか。
(事前調査)



1.今のお住まいが10年以内に水害(土砂災害)被害を受けると思いますか。
(事後調査)

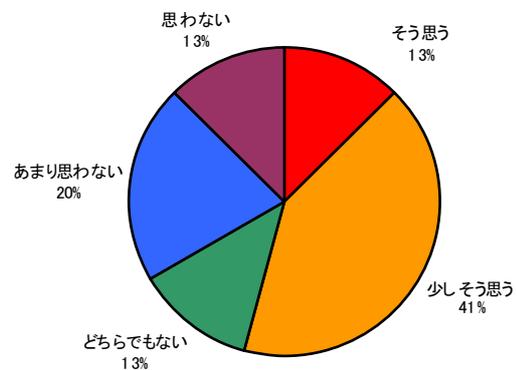
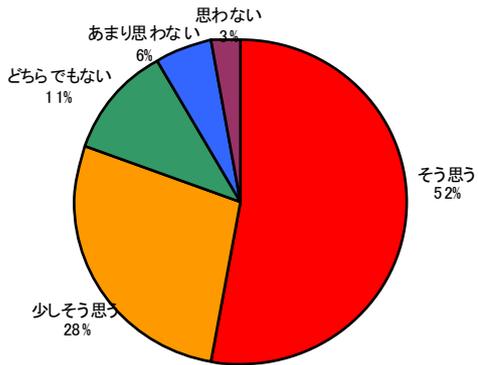


図 17 今後 10 年間で災害に遭うと思うか 出前講座前後での実施結果(近江八幡市下豊浦)

5. 行政のみで水害(土砂災害)対策を実施するのは限界があると思いますか。
(事前調査)



5. 行政のみで水害(土砂災害)対策を実施するのは限界があると思いますか。
(事後調査)

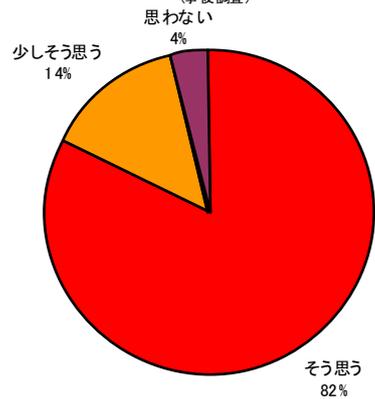
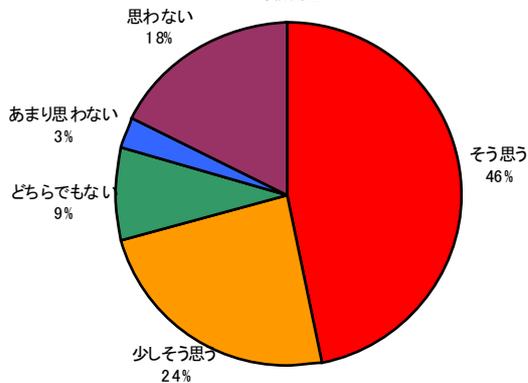


図 18 行政のみに災害対策には限界があると思うか 出前講座前後での実施結果(竜王町西横関)

5. 行政のみで水害(土砂災害)対策を実施するのは限界があると思いますか。
(事前調査)



5. 行政のみで水害(土砂災害)対策を実施するのは限界があると思いますか。
(事後調査)

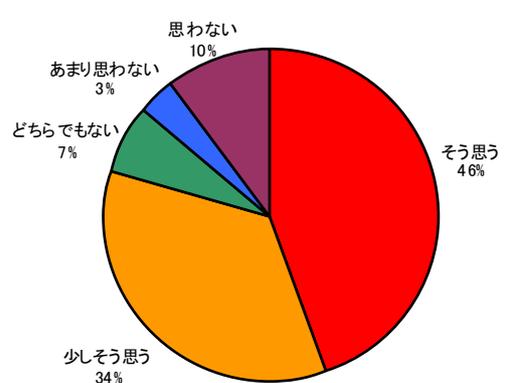
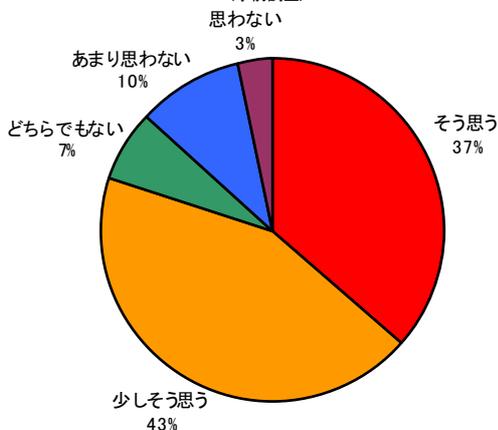


図 19 行政のみに災害対策には限界があると思うか 出前講座前後での実施結果
(近江八幡市小田町)

5. 行政のみで水害(土砂災害)対策を実施するのは限界があると思いますか。
(事前調査)



5. 行政のみで水害(土砂災害)対策を実施するのは限界があると思いますか。
(事後調査)

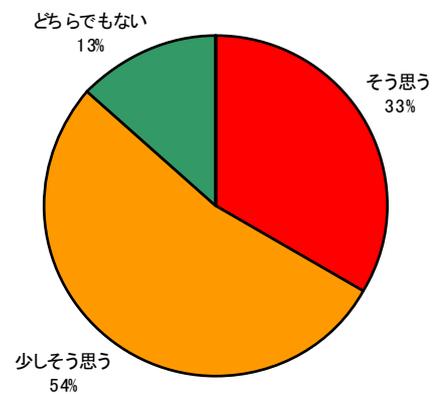
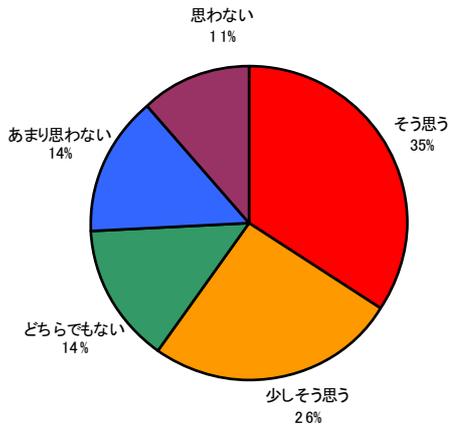


図 20 行政のみに災害対策には限界があると思うか 出前講座前後での実施結果(日野町上駒月)

5.行政のみで水害(土砂災害)対策を実施するのは限界があると思いますか。
(事前調査)



5.行政のみで水害(土砂災害)対策を実施するのは限界があると思いますか。
(事後調査)

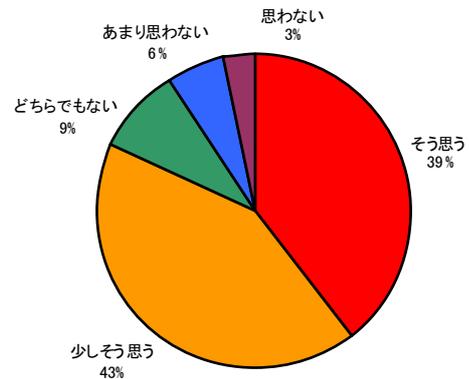
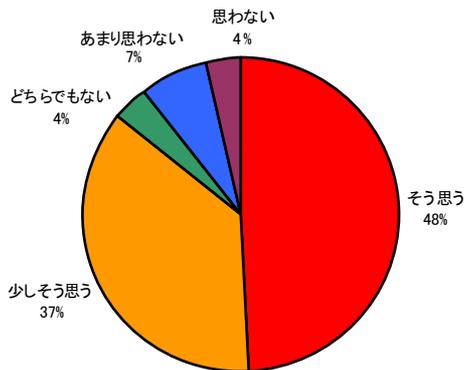


図 21 行政のみに災害対策には限界があると思うか 出前講座前後での実施結果(東近江市葛巻)

5.行政のみで水害(土砂災害)対策を実施するのは限界があると思いますか。
(事前調査)



5.行政のみで水害(土砂災害)対策を実施するのは限界があると思いますか。
(事後調査)

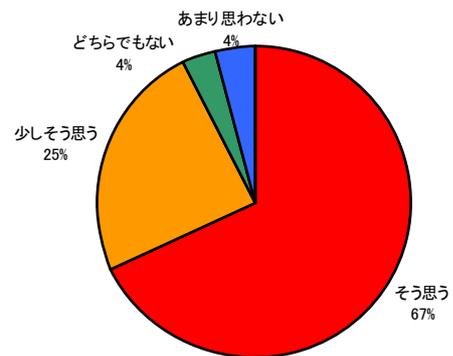
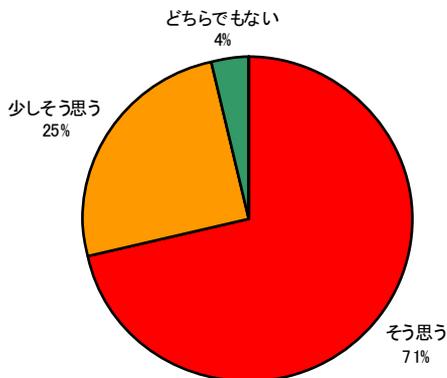


図 22 行政のみに災害対策には限界があると思うか 出前講座前後での実施結果(竜王町弓削)

3.避難の必要性や行動のタイミングは行政からの情報に頼るのではなく、
自ら判断する必要があると思いますか。
(事前調査)



3.避難の必要性や行動のタイミングは行政からの情報に頼るのではなく、
自ら判断する必要があると思いますか。
(事後調査)

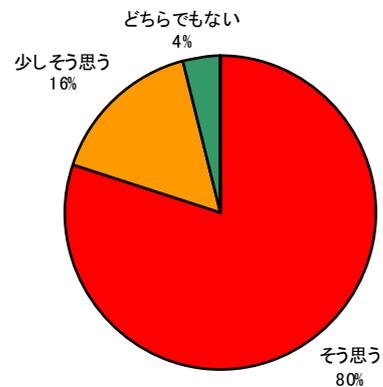


図 23 行政からの避難情報には限界があると思うか 出前講座前後での実施結果
(近江八幡市下豊浦)

表 6 出前講座全体を通しての意見・感想(自由記述)(竜王町西横関)

今日の出前講座を通じて、ご意見やご感想をお書きください。
これからもよろしく願います
自分の知らなかった事がよくわかりためになり良い知識が得られました。ありがとうございました。
早朝よりご苦労様でございました。皆で知恵を出し合い、力を出し合いつつ、より良い生活が出来たら良いかと思えます。
おいそがしい所を来ていただきありがとうございました。これから参考にさせていただきます。
とてもわかりやすくよかったです
地域での共助の部分の、はやい対応の必要性を強く感じました。人ごとではないということを感じました。
よく判りました。ありがとうございました。
とてもよかったです
ありがとうございました。又、聞きたいと思えます。
休みというのに熱心に説明いただきましてありがとうございました。人ごとのように思っていました水害災害への意識が高まりました。善光寺川流域に住んでいるので心配です。
とても良かった。県の方達も一生懸命頑張ってお勉強していらっしゃる事がわかりました。今後ともいろいろ教えて下さい。ありがとうございました。
地元地域(西横関)の現状や身近な話で、良く理解でき、特に身近に感じて良かった。
回数を多くする事
参加してよかった。
一回/年は継続的に実施してほしい。
面積図地域が入っており分かりやすかった
参加できてよかった
ありがとうございました
防災に対する関心が高まった。
地域の現場を見た中での水害のあり方の説明であったので、身近に感じながら聞くことができた。

表 7 出前講座全体を通しての意見・感想(自由記述)(近江八幡市小田町)

今日の出前講座を通じて、ご意見やご感想をお書きください。
非常に良いことであり、またお願いしたい。
今故の水害等について少しわかった。だが自然の力、計算以上の圧力があると思われる。我々ももっと普段から勉強しておかなければならない。
日野川水害マップの代表的な水害の記録にまちがいがある。
大変よかった
質疑応答の際まとまらないのできちんと一問一答にして頂きたいと思えます。質問内容と質問回答を画面にすぐ挙げていくようにすると良いと思えます。各地域で良い質問等もあると思えますのでその紹介もあればと思えます。パワーポイント資料も配布して下さいれば後戻り質問もないのでは…?
単純明快に
非常に良かった。もっと多くの市民にこの様な機会を作りたい。
若い世代への説明が必要
気候変動が予想できない時代に入り、ハードで守るには限界があり、地域(ソフト)の対応の重要性を学んだ。しかし後半の持論は少しピン트가ずれた。
今日のスライドの説明を聞き、もっとしっかり勉強したい。このような機会を毎年やってほしい
マイクがないので質問応答も聞きとれない

表 8 出前講座全体を通しての意見・感想(自由記述)(日野町上駒月)

今日の出前講座全体を通じて、ご意見やご感想をお書きください。
今後も学んでいきたいと思えます。
災害は忘れた頃にとはよくいったもので、日頃の訓練を何年かに一度しておかないといけないと思った。
前回の講座の時よりは具体的なデータに基づいての説明だったので、大変わかりやすく、よかったです。
家の裏が指定されているので参加してよかったと思う。
たいへんよくわかりました
時間も内容もよくわかりちょうど良く、わかりやすかった。
理解しやすかった

表 9 出前講座全体を通しての意見・感想(自由記述)(東近江市葛巻)

今日の出前講座全体を通じて、ご意見やご感想をお書きください。
かずらまきは水びたしになるのかな？
いろんなことを聞かせていただき当時の事を思いだしながら勉強させていただきました。ありがとうございます。
被害が出ない様に対策してほしい。
今後の参考にするのによかったです。
時間不足で残念。
今後もこのような講座を続けてほしい。
水害の経験がないので実感がわかないが水のおそろしさが少しわかったように思います。
シュミレーションがよくわかった。
説明のポイントが分からない。ハードかソフトか？
洪水予測は何のために、どう利用するのか？
説明しただけでは、次につながらない。
水害について、葛巻を取り上げていただいたこと大変うれしいと思い
地域の状況を事前にくわしく調査してほしい。
出前講座を通じて、住民で水害に対する意識を高めることが出来れば、良いと思う。
日野川河川改修工事を推進して下さい。
もっと今にも子供など被害を受けていな人の理解が必要である。
参加する前より意識が変わった。
昔の事を知ることができて、勉強になった。

表 10 出前講座全体を通しての意見・感想(自由記述)(竜王町弓削)

今日の出前講座全体を通じて、ご意見やご感想をお書きください。
今後も継続(定期的に)あれば良いと思う。
知らなかった。事例がけっこうあったので、ためになりました。
良かったと思います。
ビデオで詳しく説明があってよかった。
良い勉強になりました。
弓削の過去の写真や年長の方の話を聞かせていただき、弓削に住まわせていただいている、水害の危機感を持ちました。
絵やスライドが多いとよくわかると思います。
水害に対してよく分かりました。
いつかは水害に出会うので対策を考えておこう。
弓削の避難するタンキングは、いつなのかどれぐらいの量また田んぼや川がどうなった時なのか。
私は水害に何回もあうた経験をしたのですがまったく説明された通りです。水のこわさが身にしみます。
大変よかった。
ご苦労さまです。

表 11 出前講座全体を通しての意見・感想(自由記述)(近江八幡市下豊浦)

今日の出前講座全体を通じて、ご意見やご感想をお書きください。
今後も続けてください。
よかったです。
予防対策として大変よかった。約束の時間はきちんと守ってください。

5.2 出前講座を通じて明らかになった留意点

5.2.1 竜王町西横関での実施例に基づいた留意点

西横関では防災訓練(避難訓練)後に、出前講座を実施したため、住民が防災・避難に対して意識を持った状態で出前講座を行うことができました。そのため、訓練の際にどのように避難したか、注意した点など避難訓練の内容も含め、出前講座を実施し、実際にイメージしやすい内容とすることで、出前講座の効果を向上させることが望まれます。

5.2.2 近江八幡市小田町での実施例に基づいた留意点

小田町では、住民の方に土曜日の夜に集会所に集まっていただき、出前講座を実施しました。西横関の事例とは違い、集まっていきなり出前講座が始まるので、導入部分で防災に関して興味を持っていただき、意識をしていただく必要があります。例えば、洪水が自分が住む地区、家で発生した場合、不安なことなどを考えていただきます。出前講座前のアンケート項目に入れておき、意識していただくことも一つの手段だと考えられます。また、スライドの中身についても、興味を持っていただくには、全国や滋賀県など広い範囲の課題ではなく、出前講座実施地区における課題に重点を置く必要があります。

5.2.3 日野町上駒月での実施例に基づいた留意点

上駒月では出前講座を以前に実施しているため、他地区と比べて防災意識が高いと考えられます。アンケートの自由記述においても具体的に知りたいなどの内容が多い結果となりました。そのため、出前講座などにより、防災意識がある程度備わっている地区に対しては、具体的な内容を詰めていく内容、例えば R-DIG（水害図上訓練）などを同時に実施していく必要があります。

5.2.4 東近江市葛巻での実施例に基づいた留意点

葛巻では、住民の方に日曜日の夜に集まっていただき、出前講座を実施しました。葛巻周辺の浸水状況の時系列変化や立体画像を用いたシミュレーションといった視覚的にイメージしやすい内容を見ていただくことで、アンケート結果でも「勉強になった」、「水害に対する意識が変わった」といった意見が得られました。そのため、今後の出前講座においても視覚的に理解しやすい資料を用いることで、住民の方々の水害に対する意識が高揚すると考えられます。

5.2.5 竜王町弓削での実施例に基づいた留意点

弓削では、3名の方に水害体験談をお話いただきました。実際に水害を経験した方からの話を聞くことで、住民の方に水害を身近に感じていただくようになりました。また、家屋流出のシミュレーション結果を行うことで、水害の怖さを知った等の意見が多い結果となりました。そのため、今後の出前講座においては、実際の水害体験者の方にお話していただくなど水害を身近に感じる工夫が必要であります。

5.2.6 近江八幡市下豊浦での実施例に基づいた留意点

下豊浦では、平日の昼に出前講座を実施しました。開催時間が昼であったため参加者の年齢が60代、70代に偏っていました。水害に対する意識の高揚を目的として、水害に関する知恵や文化を伝承するためには、若い年代の方の参加が必要です。そのため、今後の出前講座は開催日や開催時間も考慮する必要があると考えられます。